



# 小倉昌男物語

## 日本中にクロネコヤマトを走らせた 信念と情熱の人

### あ ら す じ

今では生活に欠かせない宅配サービス。そのサービスの生みの親が、ヤマト運輸の小倉昌男です。大学卒業後、父親の経営していた運送会社に就職。しかし半年で肺結核を患い5年近く療養します。復職後、地方の支社で働く中、事故の多さや社員のやる気のなさに直面し、その原因は無理な仕事のせいだと気づきます。そこで「安全第一、営業第二」というスローガンを打ち立てると、業績が上がり、従業員の信頼も得ることができました。

オイルショックで経営が傾きかけた時、「家庭用の小さな荷物を取り扱ったらどうだろう」「そうすれば、一般家庭の人たちが気軽に利用でき、喜んでもらえる」と考えました。自宅へ配送、急ぐので便利で、「宅急便」と名付けました。

事業開始時は、一日に10個程度しか集まらなかった荷物ですが、現在は日本の流通を支える要に成長しました。その背景には「便利で、お客様に喜んでもらいたい」という昌男の優しい気持ちがあるのです。

## DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 昌男はどんな子どもだったかな？
- (2) 昌男は本が好きな子どもだったけれど、キミは本が好きかな？  
好きな本があったら、その名前を教えて。
- (3) 宅配便をはじめてを知ってどんなことを感じた？
- (4) 昌男は「お客様がよろこぶこと」がうれしかった。  
キミはどんなときにうれしい？
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？  
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、  
お友達と色々な話をしてみましよう。  
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましよう。

